

駅周辺開発プロジェクト

国内有数のターミナル駅開発プロジェクトに関与！

- ◆ 今後も控える国内大型ターミナル駅再編。そして、海外でも評価される日本型TOD
- ◆ 大型ターミナル駅再編における駅・まち一体の開発を推進するプロジェクトを推進しています

渋谷駅
渋谷再生プロジェクト
に現在貢献中！
> 当社HPへ

Pacific Consultants
Producing The Future

70 Years
Since 1951



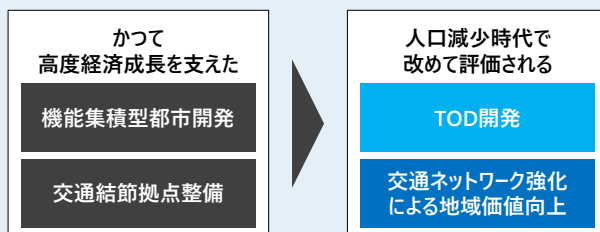
福島 康則 Fukushima Yasunori
統括プロジェクトマネージャー

1994年入社。
2016年総合プロジェクト部長を経て、
2019年駅周辺開発プロジェクトの統括PMとなる。

プロジェクトの背景 - ニーズ Background

1 今後も控える国内大型ターミナル再編

国内動向



主要ターミナルにて
TOD案件が
進行中

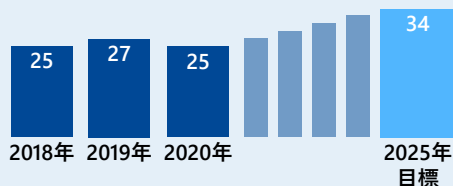
- 札幌駅 2030年度開業予定
- 新宿駅
- 品川駅
- 新大阪駅 2030年代開業目標
- 神戸三宮駅 2030年完成目標

2 海外でも評価される日本型TOD

海外動向

- ✓ 中国・ASEAN・インド等の海外都市開発市場の拡大
- ✓ インフラ輸出に向けて国も施策強化
※インフラシステム海外展開戦略（令和3年6月改訂版）

（参考）2025年のインフラシステム受注額



34兆円

本プロジェクトで提供するソリューション & サービス

Solutions & Services

都市の価値向上に向けたTOD開発を専門技術とトータルマネジメントで支援！

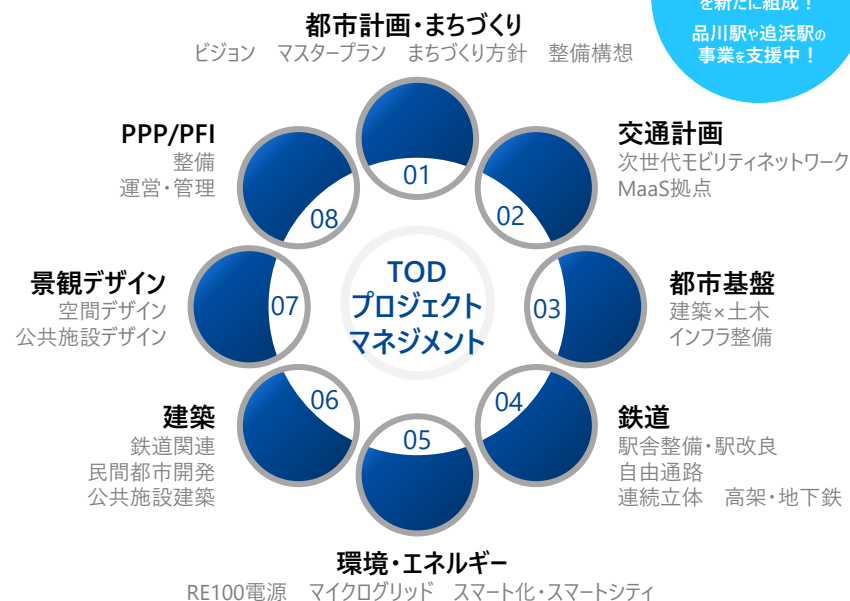


駅 × 駅前広場 × 周辺インフラ × 再開発ビル

これまで個別バラバラで整備されていたものを一体的に
開発することで、効率性・利便性・安全性を兼ね備えた街へ

都市の
高付加価値化

横串連携による高付加価値型コンサルティング



バスタプロジェクトの推進強化に向け、バスタプロジェクトチームを新たに組成！
品川駅や追浜駅の事業を支援中！

多様なステークホルダーとの調整を通じた全体最適化に資するマネジメント



TOD×スマート “駅・まちDX”対応支援

- BIM/CIM活用
- AIカメラ活用
- 統合プラットフォーム・デジタルツインの構築による効率の效果的マネジメント



TOD：Transit Oriented Development / 公共交通指向型開発
公共交通機関の利用を前提に、鉄道駅を中心に、駅前広場等の整備による歩行者ネットワークの充実と、商業・業務・住宅等を組み合わせた高密度な複合的な都市開発